

# 2020年・被爆75年 核兵器廃絶へ転換の年にしよう 「世界大会ニューヨーク」成功へGO-! 「成功させる長崎連絡会」結成へ

原水爆禁止2019年世界大会国際会議宣言は「我々は、被爆75年である2020年を「核兵器のない平和で公正な世界」への歴史的転機とするために、被爆者とともに立ち上がることを呼びかける。世界にはいまなお約1万4000発もの核兵器が存在している。核兵器の脅威を根絶することは、世界の安全と、人類の未来がかかった緊急課題である。いま多くの人々が、被爆者の体験を深く受け止め、核兵器廃絶のために立ち上がっている。気候変動など人類の生存にかかわる諸課題の解決のため、若者をはじめ広範な市民が行動を起こしている。これらを合流させ、世界的な運動をつくりあげよう。」と呼びかけました。そして、9月に、日本の被爆者をはじめ、世界の反核平和運動の19人の個人と3団体が、NPT再検討会議の直前の4月24日から26日まで、ニューヨークでおこなう世界大会の計画を発表し、「世界大会ニューヨーク」成功へと取り組みが進められています。呼びかけに応え、被爆地長崎としてニューヨーク行動に参加する人だけでなく、広く共同して「世界大会ニューヨークを成功させる長崎連絡会」結成の集い開催を発表しました。



12月20日呼びかけ人5氏による記者発表

朝長万左男核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ実行委員長、高見三明カトリック長崎大司教区大司教、川野浩一原水爆禁止日本国民会議議長、田中重光長崎原爆被災者協議会会長、大矢正人原水爆禁止長崎県協議会代表理事の5氏が呼びかけています。今後学習会や壮行会などの取り組みが進められます。

2017年7月7日、核兵器禁止条約が採択され、これまでに80の国が禁止条約に調印し、批准した国は条約の発効に必要な50か国まであと16となっています。早期発効を求めて行動しよう。日本政府に禁止条約の調印・批准をせまろう!



平和公園での署名行動  
1月2日

教皇フランシスコが呼びかけているようなハマクロスでの署名行動



# ヒバクシャの声「平和の旅へ」世界へ ニューヨーク国連本部ロビーで演奏

12月27日 市長を表敬訪問した「平和のたびへ」合唱団の佐藤由美子団長、指揮者園田鉄美。応援の被災協田中重光会長、地球市民集会升本由美子副実行委員長、



ヒバクシャ渡辺千恵子さんの半生を合唱組曲にして被爆の実相を訴えてきた「平和の旅へ」合唱団、NPT再検討会議が開催される初日の4月27日に国連ロビーで演奏できることが決定し、また、有名な芸術系高校での演奏には市長の同席する計画もあり、田上長崎市長を表敬訪問。団員約40名がニューヨーク行動に参加、練習計画も発表しています。

## 被爆者へ年末見舞いを送りました。(県原水協)

原爆被害とたたかってこられた被爆者の健康と核兵器のない世界を願う全国の方々から寄せられた募金の一部を年末に毎年見舞いとして送っています。この他に被爆者の御家を訪問し声をかけ見舞いを届けることもしています。被爆地拡大協議会へも見舞いを届けました。被爆から74年、被爆者の方が少なくなっています。



長崎被災協 田中会長へ大矢代表理事が届けました。



原爆病院 平野院長へ筒井常任理事が届けました。

恵が丘原爆ホームでは、たくさんの方が迎えてくれました。訪問団へ丁寧なお礼の言葉があり、手作りのお土産までいただきました。今回は被爆者の大きな励ましになった、フランスコ教皇のメッセージが明るい話題になりました。

